



翔 洋

令和7年3月1日

PTA通信
総務部編集
第55号

ご卒業おめでとうございます

好きなことをやりましょう！

PTA会長 日向 秀樹



厚岸翔洋高等学校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者を代表して、心から重ねてお祝いを申し上げます。

皆さんはこれから、夫々の人生を歩む事になりますが、人生の先輩として少しアドバイスをさせて頂くとすれば、とにかく、まずは『好きなことをやって欲しい』と思います。

これは好きなことだけやるという意味ではなく、好きなことを見つけて、目標が出来れば夢中になることが出来ますし、その人の持っている最大のパフォーマンスが発揮され、それらの積み重ねが結果となり、更にやりがいが生れます。

社会に出ると、一番長い時間を費やすのが仕事です。その時間がやりがいのある、楽しいものに出来れば、人生は豊かになると思いますので、まずは好きなことを見つけて、楽しんで学ぶ事を覚えて欲しいと思います。

そして、将来、自立し成長した姿を、いつも無償の愛で大切に育ててくれたご家族に見せて下さい。それが何よりの恩返しです。

それから、3年間の長きに亘り、子供たちの目線に合わせ、ご指導賜りました山本校長始め全ての先生方に、心から感謝を申し上げます。

結びに、無限の可能性を秘めた、卒業生の皆さんが、これからの様々な出会いを大切に、人への思いやりを忘れることなく、将来は素晴らしい社会人になることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

「精励恪勤」

校長 山本 十三



本校の校訓のひとつに「精励恪勤」があります。「精励恪勤」の意味は「力の限りを尽くして学業や仕事に励むこと」とあります。

「精励恪勤」の言葉のイメージとして、「なまけず、一生懸命に励むこと」、「落ち着いてしっかり取り組むこと」などが挙げられると思います。また「爽やかに物事に当たる」というイメージもあるのではないのでしょうか。一方、「精励恪勤」について、「辛そう」、「生真面目でなんだか大変そう」、「見ていてしんどそう」といったマイナスのイメージを持つ人がいるかもしれません。

普段の生活、学業や社会における取組において、初めは、辛く、大変だという気持ちが優先するかもしれませんが、活動を継続していく中で、物事に対し励むことで、「達成感」や「やり甲斐」を感じ、その活動に対する「姿勢」、「捉え方」に変化が生じてくるものと考えます。そして、「精励恪勤」の考えの基、行動したとき、その人の表情や事に対する姿勢とは、他者にどう映るか、見えるかといえば、決してマイナスのイメージではなく、周りの人に安心感を与え、プラスの働きかけになるのではないのでしょうか。また、全体がその考えを意識して活動することで、全体の心の豊かさにつながるものと思います。みなさんには、これからも「精励恪勤」の考えの基、目標を高く持ち、様々なことにチャレンジして欲しいと思います。

結びに、この春、本校を旅立つ卒業生のみなさんが、校訓「一視同仁」、「精励恪勤」を胸に秘め、新たな扉を開けてくれることを願っています。

3年間の軌跡



模索が生み出す趣 3年普通科 担任 丸田 宏平

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお慶び申し上げますとともに、本校の教育活動に多大なるご支援を頂いたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の社会情勢から、時代のうねりを痛感しています。具体的に記載したいところではありますが、端的に「権力に対する闘争」や「さらなるイノベーションの創出」などがその要因です。いずれにせよ、時代のうねりを我々が止めることはできず、その勢いはますます激しさを増していくと思われまます。

そんな中、常日頃から考えていることがあります。それは「より一層不確実性が高まる未来を生きる高校生に、私は教壇に立つ者として何を教えるべきか」という問いです。思考を重ねた結果、答えは見つかりませんでした。否、答えはきっとないのでしょう。

学校教育では何かと答えを教えがちですが、人生における答えは、教えてもらうものではなく自分自身で見つけ出すものです。激しく、時に穏やかな「うねり」を身に感じながらその答えを模索する。そこに趣深さがあり、それが人生の醍醐味かもしれません。その趣深さを皆さんとの3年間で感じる事ができました。ありがとうございます。皆さんのこれからのご活躍、心から期待しています。



自分らしく

3年資源科科 担任 近藤 暖起

3年生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんの高校生活は、新型コロナウイルスの流行がまだ収まらない中でのスタートでしたね。制限の多い日々の中でも、工夫しながら学び、仲間と支え合いながら成長を遂げてきましたね。その努力に心から敬意を表します。

この数年で、IT技術の進化は目覚ましく一人一台端末の活用が当たり前になり、セルフレジやタブレット注文など、私たちの生活も大きく変化しました。また、生成AI技術の発展により、学校や企業等多くの場面で活用される一方で、人が担ってきた仕事の一部が代替される時代が訪れています。技術の進歩は私たちに多くの恩恵をもたらしますが、一方で、人間に求められる役割も変化し続けています。

今後の社会は、さらに変化が加速していくでしょう。その中で大切なのは、技術に流されるのではなく、自分にしかできないことを見つけ、価値を生み出す人材になることです。創造力や挑戦する姿勢こそが、未来を切り拓く力となると思います。自ら考え行動し、新たな可能性を見出していくことが、今後の時代においてより一層重要になるでしょう。

卒業後も、変化を恐れずに、自分らしく歩んでください。皆さんの活躍を心から願っています。

